防災カフェ

― 緊急地震速報を見聞きした時は ―

毎年９月１日は「防災の日」とされ、各地で地震発生を知らせる緊急地震速報を想定した避難訓練が行われています。

地震が発生した際に震源からの揺れが地面を伝わる地震波には、早く伝わる揺れ（Ｐ波、秒速約７km）と遅れてやってくる揺れ（Ｓ波、秒速約４Km）があり、強い揺れによる被害をもたらすのは主に後からやってくるＳ波です。

緊急地震速報は、この地震波の伝わる速度の差を利用して、最大震度５弱以上の揺れが想定される場合に、震度４以上が予想される地域に対して発表されます。

外出時に緊急地震速報を見聞きした時は、次のことに注意しましょう。人が大勢いる施設では、あわてて避難口に走り出さず、施設係員の指示や放送に従ってください。自動車を運転中は、緩やかにスピードを落としてハザードランプを点灯し、周囲の車に注意を促しましょう。鉄道やバスなどに乗車中は、転倒を防ぐため、つり革や手すりにしっかりつかまってください。街中では、看板や割れたガラスの落下、販売機やブロック塀の転倒などに注意しましょう。また、山や急斜面付近では落石やがけ崩れに注意してください。

大きな地震の後には、家族などの安否が心配になりますが、通信が集中して電話などがつながりにくくなります。そのようなときは「災害用伝言ダイヤル（１７１）」を利用してください。このサービスは体験利用することもできますので、いざという時の備えとして、身近なかたを誘って利用方法を確認してはいかがでしょうか。

なお、震源が近い場合は、強い揺れの到達に緊急地震速報が間に合わない場合もありますので注意してください。

■**災害用伝言ダイヤルの詳細はこちらから**（ＮＴＴ東日本企業情報サイト）

●**詳細**　危機対策係☎27-7058

ヒグマとの事故を防ぐために

①複数で行動し、音で存在を知らせましょう／野山には１人で入らず、複数で行動するようにしましょう。入山する時は、熊鈴やラジオ等を持って、会話しながら、人の存在を知らせましょう。

②ヒグマの出没情報等に気を付けましょう／薄暗いときの行動は避け、野山に入る前には、新聞やテレビなどで、ヒグマの出没情報等を確認しましょう。

③残飯や生ゴミの処理には注意しましょう／ヒグマは、いったんゴミの味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場などに繰り返し出没するようになります。ゴミを野外に放置したり、埋めたりしないようにしましょう。

④フンや足跡、食べた跡を見つけたら、すぐに引き返しましょう／ヒグマのフンや足跡、草や木などが食いちぎられた跡などを見つけたときは、すぐに引き返しましょう。

⑤落ち着いて行動しましょう／万が一、ヒグマに遭遇した場合は、落ち着いて行動しましょう。逃げたり、さわいだり、慌てて行動すると、かえってヒグマを興奮させ、襲われる危険があります。リュックや持ち物の回収はせず、ゆっくりと静かに立ち去りましょう。

⑥熊撃退スプレーや熊鈴を携帯しましょう／野山に入る際は、万が一、ヒグマに遭遇した場合に備え、熊撃退スプレーや熊鈴を携帯しましょう。

●**詳細**／芦別警察署☎22-0110